

平成18年度

第2回マナーに関するアンケート結果と考察

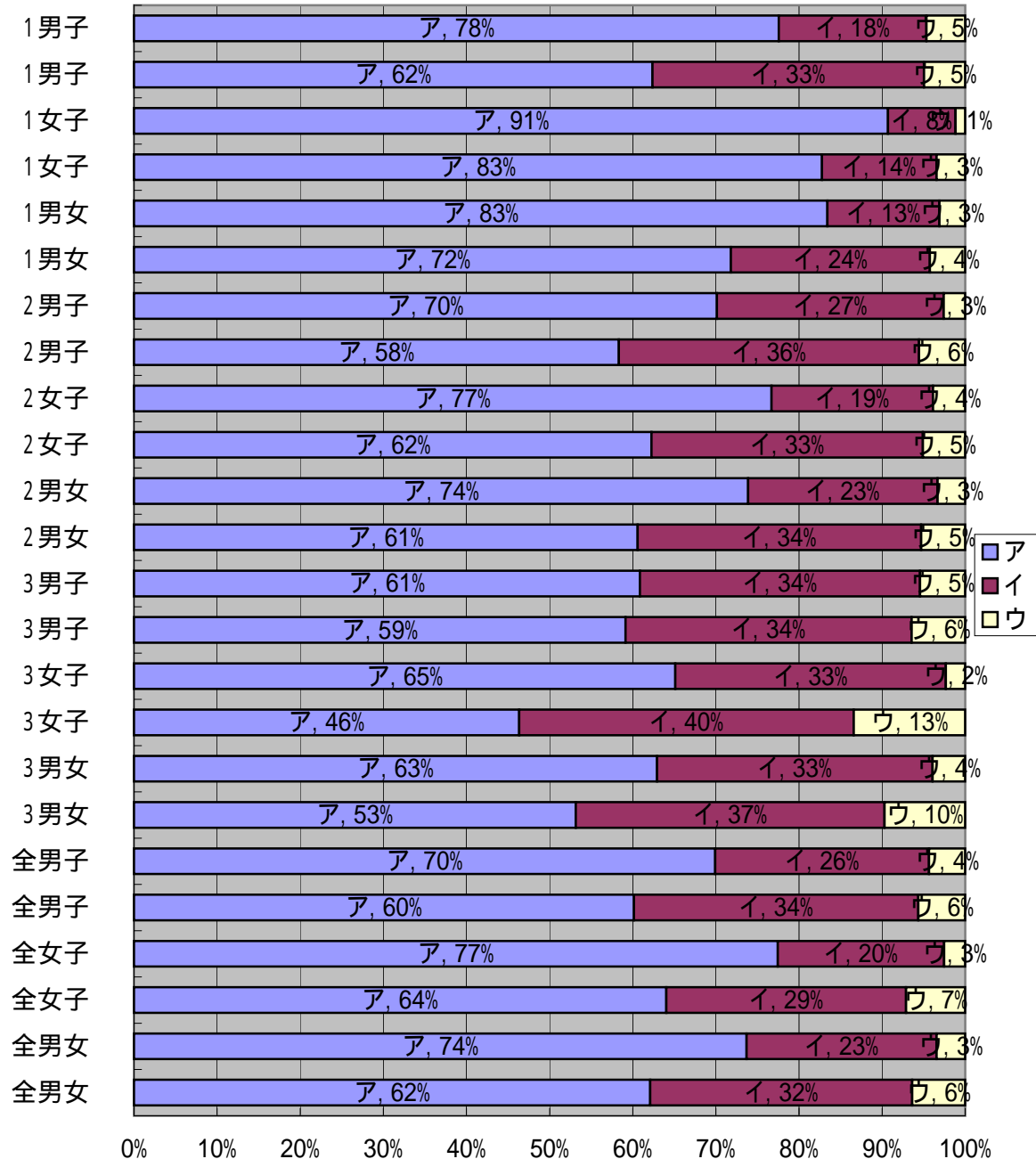
平成19年2月7日～9日実

1 あいさつについて

先生や来校者, 友達や先輩・後輩に対して

ア 進んであいさつできる イ 相手がしてくれたらする ウ ほとんどあいさつをしない

あいさつ



【考察】

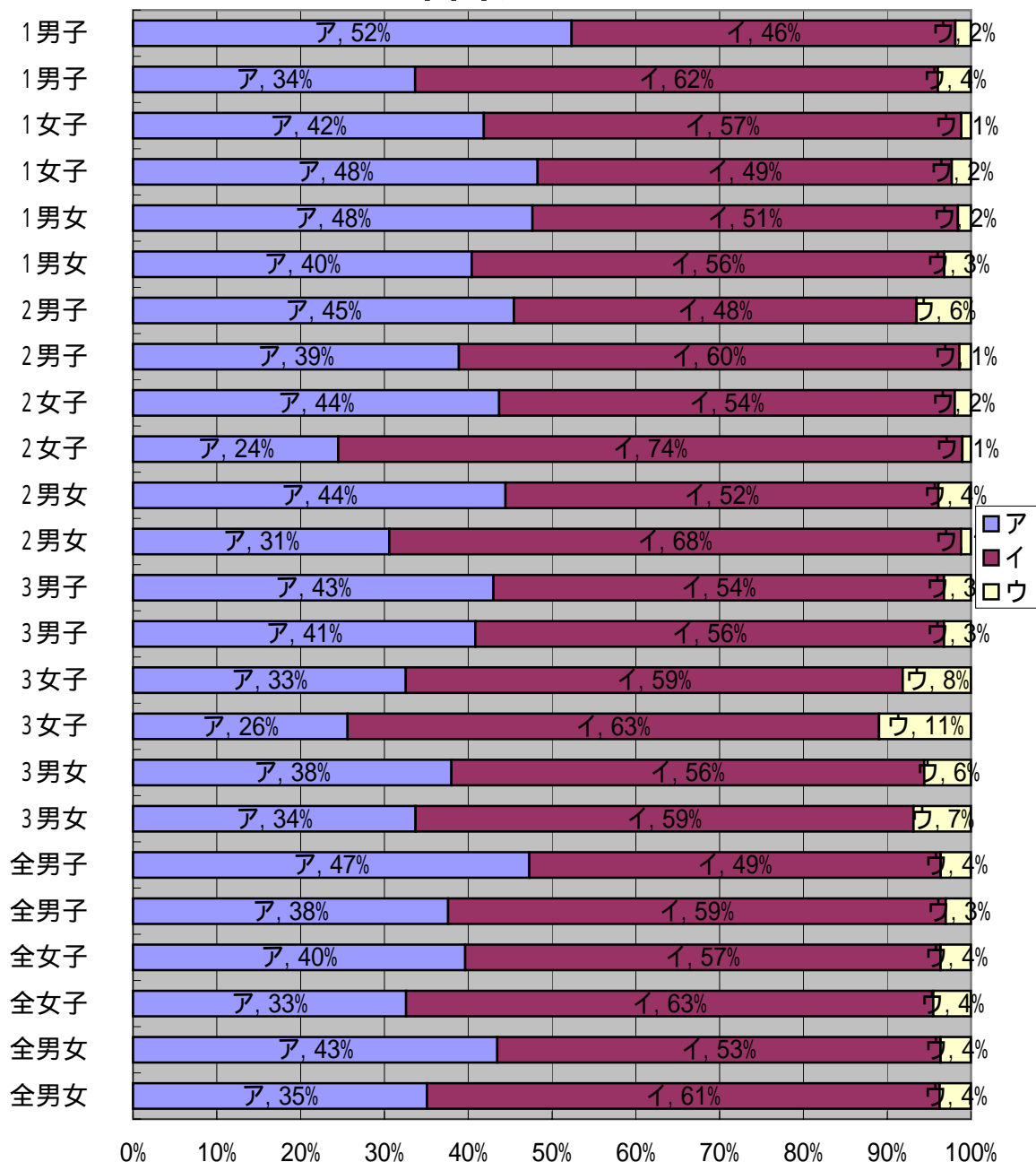
今回は、本年度第1回調査と比べて、どのような変容が見られるかをグラフで見られるようにすることに主眼を置いた。が第1回、が第2回調査の結果である。「あいさつについて」は進んであいさつできるが、全校では12%減少し大きく後退した。生徒会や部活動が朝、校門であいさつ運動をしているが結果に結びつかなかったのが残念である。生徒の自覚を高めるよう取り組む必要がある。

2 言葉づかいについて

先生や先輩・後輩に対して、その場に応じた適切な言葉づかいが

ア きちんと使い分けができる イ 少しは使い分けができる ウ ほとんど使い分けができません

言葉づかい



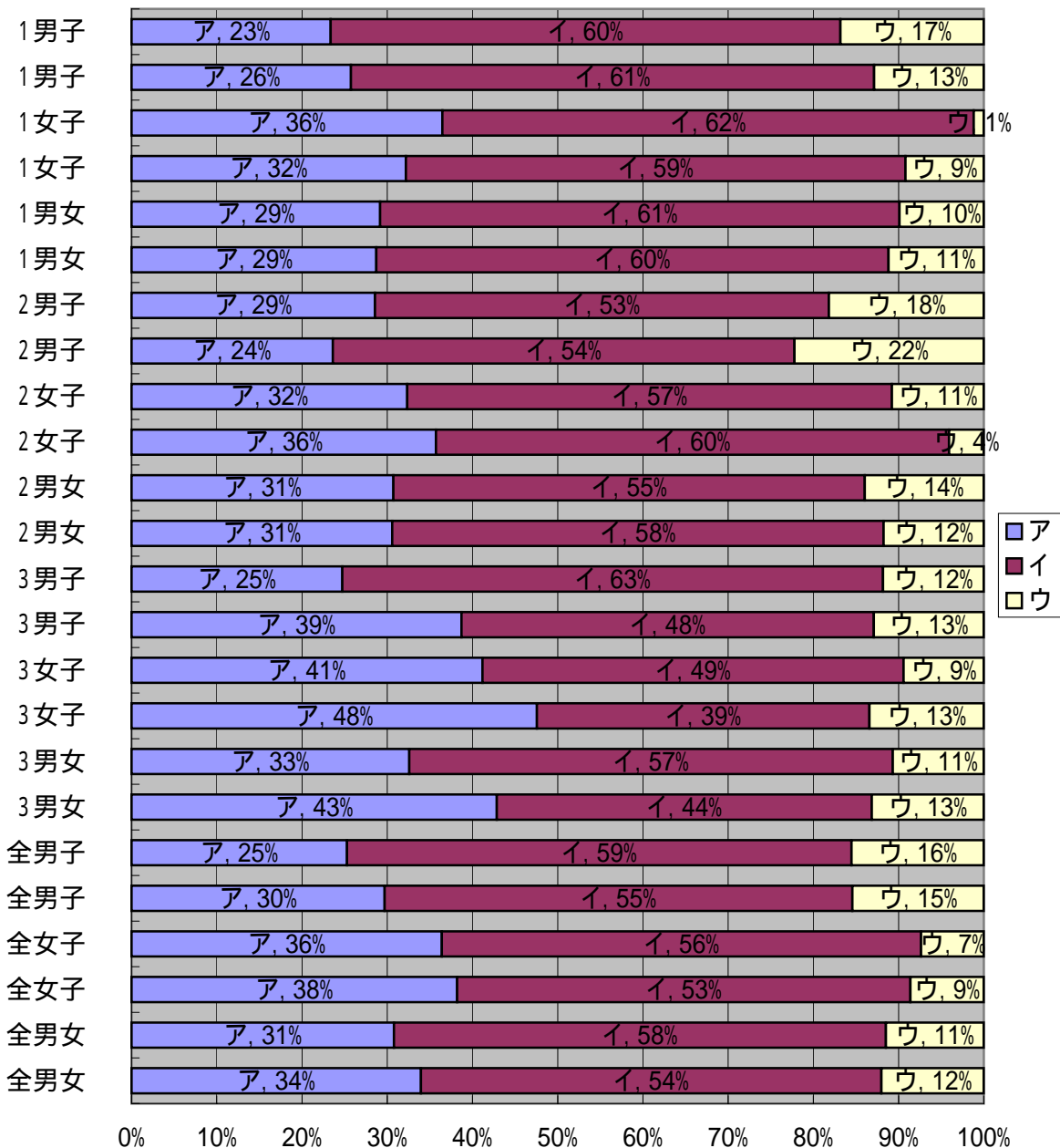
【考察】

「きちんとして使い分けができる」が全校では、8%低下した。「ほとんどできない」が、3年女子11%、1年男子4%と高いのが目立っている。全校で見ると女子が少しではあるが「きちんとして使い分けできる」割合が男子より低い。TV等の影響で、やはり言葉を日常的に使っていることなどに起因しているのではないかと。職場体験や面接練習などの機会をとらえて指導したり、日常的に根気強く指導する必要がある。

3 私語について

集会・授業中で話をしてはいけないときにお喋りを
 ア ほとんどしない イ 時々する ウ よくする

私語



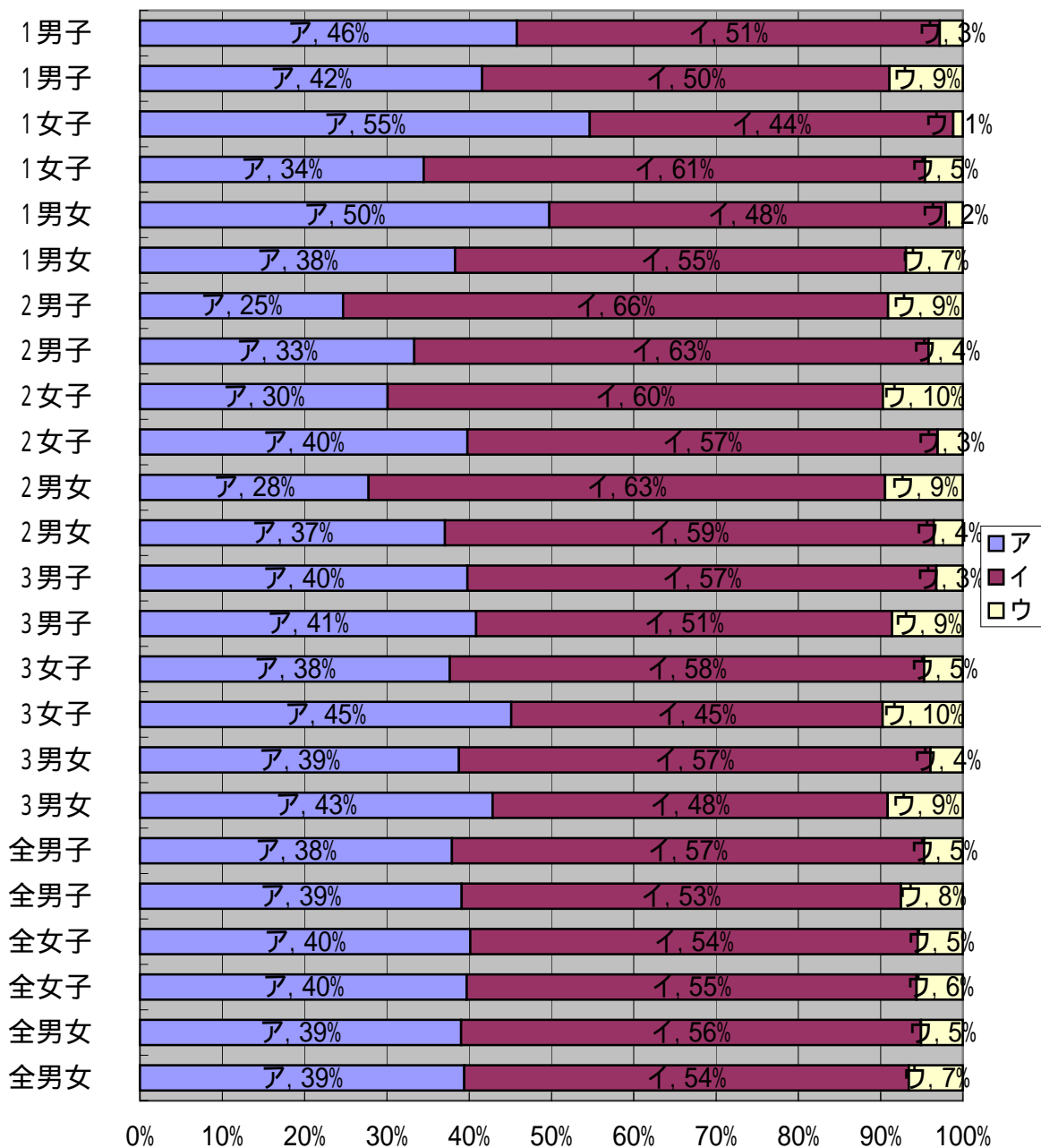
【考察】

学年が上がるに連れ、私語は少なくなっていると生徒は自覚している。特に3年は男女あわせてア群が10%も増えた。男女とも成長とともに口数が少なくなる傾向はある。特に全校での集会などは私語が少なくなっていると感じる。ただ単に口数が減るだけでなく、必要なときに分かりやすく説明できる力は大切である。

4 清掃について

ア 進んで清掃できる イ 一応時間内は適当にする ウ さぼったり遊んだりしてほとんどし

清掃



【考察】

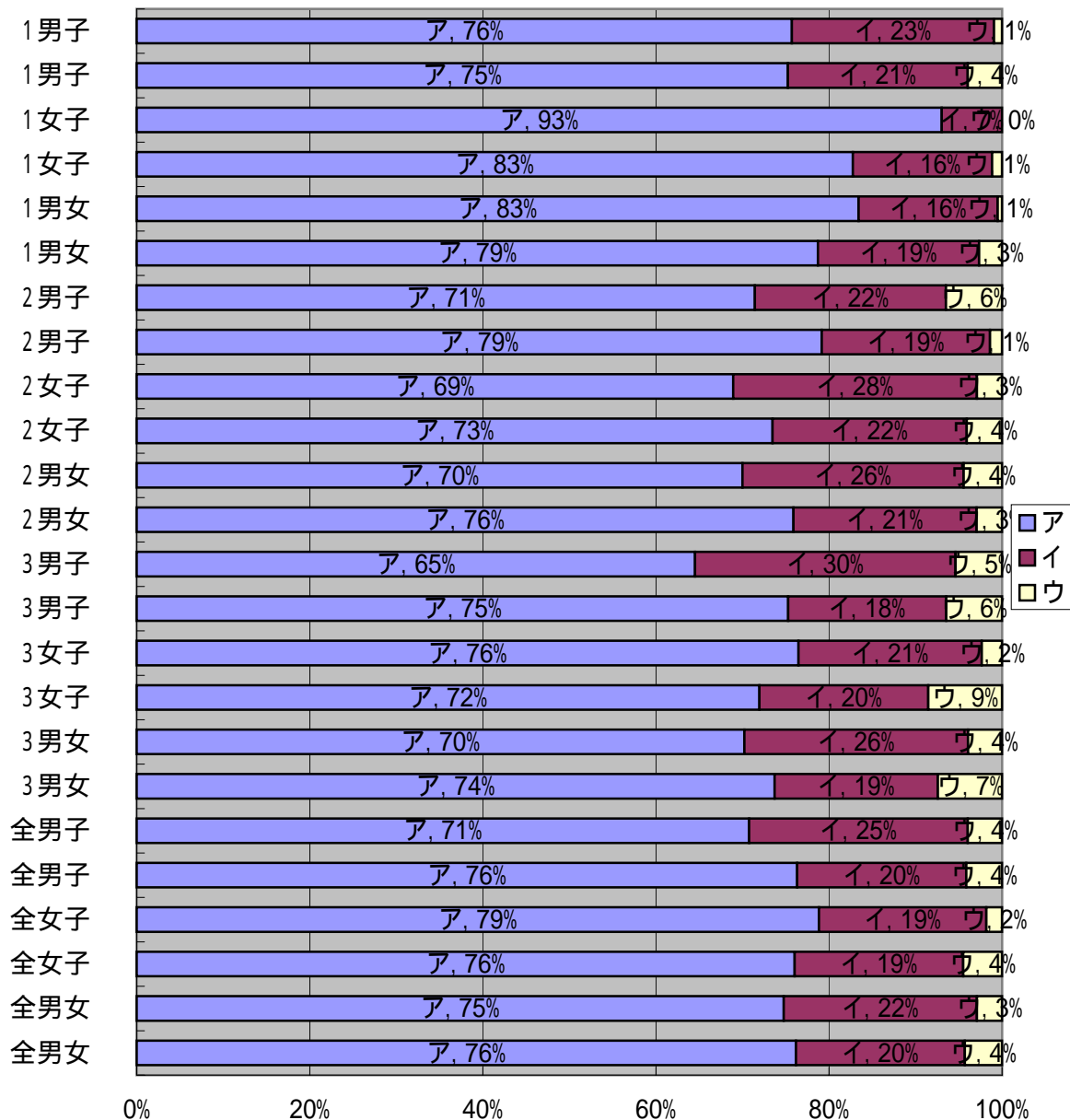
清掃については全校生で見ると、第1回の結果と大きな変化はない。しかし学年では、1年生が男女あわせて12%もア群が減り、逆に2年生は男女あわせて9%ア群が増えている。3年生では男女あわせてア群が4%増えている。結果的に、1年生が学校に慣れてきて気のゆるみが大きく目立っている。

5 服装について

ネーム・校章・学年章は付けられているか。靴のかかととは踏みつけていないか。男子はシャツを上着から出していないか。女子で長い髪はくくっているか、スカートの長さは標準であるか。

ア ほとんどできている イ 時々忘れてたり注意されるが大体できている ウ ほとんどできていなく てよく注意を受ける

身だしなみ



【考察】

服装については、やはり学年が上がるに連れてだんだん悪くなってきている。第1回との比較では1年生のみが4%ア群が減少し、2年生は6%、3年生は4%ア群が増えている。実際には上級生になるごとに服装面で指導を要する生徒が増えているが、逆にきちんとしようとする生徒も増える二極化現象が見られる。